

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>高齢者が様々な障害を持って、その人らしく自然体で、住み慣れた地域の中で、ときわなる人生を支援するという独自の理念を作りあげている。</p> <p>○</p>	<p>実施している内容を継続します。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念を玄関に掲示し、理念の実践に向けて管理者と職員は「利用者の気持ち、何を望んでいるか」を念頭に日々の支援に努めている。</p> <p>○</p>	<p>実施している内容を継続します。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ホーム名そのものが理念であることを理解してもらえよう、取り組んでいる。</p> <p>○</p>	<p>地域に向けた便りをタイムリーに発信し、取り組んでいきます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>近隣の方々とは、散歩の時など、職員が積極的に声を掛け、利用者が話しやすい場を提供し、会話がすすむように努めている。旬の野菜、花の差し入れなどがあり、時候の会話がはずむ付き合いがある。</p> <p>○</p>	<p>散歩の機会を多く取り入れ、近隣の方々との関わりができるよう取り組んでいる。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>沖縄行事・祭祀を大切にし、ホームの夏祭りに招待したり、桜祭り、ハーレー見学等に出かけ、地元の方々と交流することに努めています。</p> <p>○</p>	<p>自治会や地域活動に積極的に参加していくよう取り組んでいる。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	福祉サービス提供に向け、常に話し合いは持っています。	○	①台風時の独居老人の安否確認、②高齢者世帯を対象にお弁当の配食サービスを実施します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての取り組みの為、実施していません。	○	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催に向けて、会議内容やメンバーを検討している。内容は理念を基にしたもので、自治会、民生委員などの地域の方々を予定している。	○	会議を通じて、報告や話し合いを行い、理念を浸透させる為に取り組んでいく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービスの質の確保、向上を図ることを目的として取り組み準備中です。	○	取り組んでいきます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現段階では該当者がなく、実施されてませんが、研鑽の機会をもち支援していきます。	○	必要な人には活用できるよう支援していきます。(管理者、職員は権利擁護に関する制度を学ぶ機会を多くもち、理解を深めます。)
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間の感性を磨き、気づきを多くし、防止に努めています。	○	管理者、職員は、虐待が100%ないことを徹底します。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	わかりやすい言葉遣いにて、時間をかけ、納得のいくように説明を行っています。	○	接遇マナーを大切に、今後も実施していきます。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の会話に耳を傾け、意見、苦情、不満を職員が受け止め、管理者等と話し合いながらそれを運営に反映させています。	○	相手の立場に立った接遇を基本に、今後も実施していきます。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時や電話にて連絡、報告を行っています。	○	今後も、月1回の家族の面会時及び個々にあわせた報告を行っています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族への面談により意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させています。	○	ご家族からのアンケートの活用を実施します。(アンケート用紙の設置)
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ケアカンファレンス、職員会議などを通じ、情報の共有化等により利用者の安全・安楽な生活に反映させています。	○	月1回のケアカンファレンスと職員会議を実施していきます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めています。	○	今後も要望に柔軟な対応ができるよう、話し合いの機会を設けていきます。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が離職する場合には、利用者が不穏にならないように、充分なる配慮をします。	○	離職を最小限にとどめられるように、職員の教育の場を設けていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	月1回の職員の内部勉強会や外部研修を受ける機会を確保し、働きながら育てていくことを進めています。	○	今後も、法人内外の研修計画を立て、取り組んでいきます。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム連絡会に加入し、ネットワークづくりや、勉強会、相互訪問等の交流活動を進めています。	○	今後も、地域の同業者と交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていきます。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	主任級職員が悩みの受け皿的役割をしています。	○	職員一人ひとりと面談を行い、ストレスが軽減するよう取り組んでいきます。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	改善点などを提案できる機会を設け、各自が向上心を持って働けるように努めています。	○	職員一人ひとりと面談を行い、各自の目標について把握し、向上心の後押しを行います。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、否定せず、受けとめる努力をしています。	○	本人からの聴きとりにより、速やかに管理者、職員が把握し、対応できる環境作りを継続します。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご家族と細かいところまで話し合い、ゆっくりと時間をかけてよく聴き受け止める努力をしています。	○	ご家族からの聴きとりにより、速やかに管理者、職員が把握し、対応できる環境作りを継続します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはご家族のお話をよく聴き、本人にとって一番必要なサービス利用は何かを見極め、対応に努めています。	○	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学体験をすすめながら、不安な気持ちにならないようご家族と協力し、徐々に馴染める様工夫しています。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は一人ひとりに合った過ごし方を見つけだし、共に楽しんで喜んだりしながら、支えあう関係を築いています。	○	
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	時にはご家族と本人との架け橋になることなども想定に、ご家族との連絡は密にして、一緒に本人を支えていく関係を築いています。	○	
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所に至るまでの本人とご家族、入所してからの両者の関係を理解し、より良い関係が築いていけるように支援しています。	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔の写真をみて会話をしたり、時には故郷訪問等で懐かしい場所に出かけ、なじみの関係が途切れないよう支援に努めています。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人ひとりを把握し、孤立しないよう関わりあえるように、より良い関係の中で日常生活が送れるよう努めています。	○	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする利用者やご家族には、関係を断ち切らないよう連絡を取り合い、つきあいを大切にしています。	○	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの「その人らしさ」を大切にし、その人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や馴染みの方などから聞いたこと、情報提供書などからこれまでの暮らし方の把握に努めています。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身状態や有する力等一人ひとりが、その人にあった一日の過ごし方をケアプランに反映させて総合的に把握するように努めています。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当制を作り、モニタリングや課題分析・ケアカンファレンスを全員で行い、本人やご家族の意向を反映した介護計画を立案作成しています。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、ご家族、その他必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成しています。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。	○	申し送りノートや介護記録、個人ノートからも情報を共有し、見直しに活かしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	単独の為多機能を活かせない。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人へのサービスの質の確保、向上を図ることを目的としての協力体制を強化、支援する準備中です。	○	自治会や民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援していきます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用するための支援取り組みを準備中です。	○	訪問看護や訪問歯科受診等を実施し支援していきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協働できるよう、準備中です。	○	今後は地域包括支援センターと協働して行きます。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援しています。	○	今後も取り組み支援します。

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>今後も取り組み支援します。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>今後も取り組み支援します。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>今後も取り組み支援します。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>今後も、全員にて方針を共有していくように話し合い、連携していきます。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後の変化に備えて検討しています。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>今後も努めていきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いには万全に注意を払い、徹底しています。	○ 介護の基本・接遇マナーを大切に、今後も実施していきます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	本人の意思を尊重し、思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援しています。	○ 今後も本人の「その人らしさ」を大切に支援していきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、その人にあった生活を優先して、希望にそった暮らし方を支援しています。	○ 今後も本人の「その人らしさ」を大切に支援していきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容資格を取得した職員によるアドバイスを受けながら、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援しています。	○ 今後も継続します。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしています。	○ 静かな音楽を流す環境造りと、職員と共に談笑しながら楽しくお食事ができるように支援していきます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの状況に合わせて、ご家族と相談しながら、日常的に楽しめるように支援しています	○ ご家族や関係者と相談しながら支援していきます。

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録表により管理し、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援しています。	○	排泄状況を日々職員間で申し送り、気持ちよく排泄できるよう支援します。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、毎日入浴を楽しめるように支援しています。	○	入浴を希望する場合は、その状況に応じて支援していきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安心して気持ちよく休息したり眠れるように一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、本人やご家族と相談して支援しています。	○	今後も支援していきます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、常日頃の会話やご家族、知人などからの生活歴を引き出し、力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしています。	○	一人ひとりのノートを作り、職員が気づいたこと、ご家族や知人等から聞いたことを記入したものを共有し、支援に努めていきます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使う際は、ご家族にお願いし、本人は、お金の所持はありません。	○	今後も、ご家族との密な連携をとり、ご家族に金銭管理をお願いしていきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの周囲は緑が多く眺めもよく、静かで、一人ひとりのその日の希望にそって、小鳥のさえずり、虫の声を聴きながらの戸外活動を支援しています。	○	近隣には公園もあり、少し遠出の際は、車で移動し、戸外活動を安全に、ゆっくり過ごせるよう支援していきます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事などの機会をつくり、他の利用者やご家族と共に出かけられるよう支援しています。	○	季節感や気分転換を図る為、年間行事として、外出支援を実施します。

記入日：平成20年6月19日

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○	レクリエーションなどでも季節にあわせた葉書を作るように支援していきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫しています。	○	イベント等に参加していただき、気軽に訪問できるように工夫しています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	○	今後も取り組んでいきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	○	今後も取り組んでいきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間の定期巡視を行い、日中は常に安全に配慮して所在や様子確認を行っています。	○	今後も取り組んでいきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミや針など注意の必要な品は、一人ひとりの状況に応じて保管・管理して、危険を防ぐ取り組みをしています。	○	ご家族や本人と話し合った上で、管理保管しています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故報告書等を活用し、再度事故のないように取り組むと共に、マニュアル等で知識を学び、事故防止に取り組んでいます。	○	定期的に内部研修を行い、外部研修にも参加する機会を設け、知識を学んで事故防止に取り組んでいけるようにします。

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急務であることは理解し、全職員が対応できるようにします。	○	今後、応急手当や初期対応の訓練・講習会などを定期的に全職員が参加できるようにします。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	働きかけを進めていきます。(準備中です)	○	早急に地域の方々との協力を得られるよう働きかけていきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っています。	○	今後も話し合いの場を設けて対応します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期的バイタルチェックや申し送り、個人記録等で職員間が情報を共有し、対応に結びつけています。	○	体調の変化に気づいた際はすぐにご家族に連絡し、あわせて、かかりつけ医の指示をいただいています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を共有し、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。	○	薬についての勉強会を開いて支援に努めていきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物の工夫、日課の体操、散歩などで便秘の予防に取り組んでいます。	○	便秘の予防と対応について、今後職員全員が理解できるよう勉強会を設けて支援に取り組んでいきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしています。	○	口腔ケアについての勉強会を設け、職員全員が理解し、一人ひとりの口腔に応じた支援をします。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量の記録・水分量の確認を行い、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしています。	○	天候や入浴後、夜間など、その時に応じた対応で支援しています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを作成し、職員が共有できるようにしています。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板等の消毒、食器は乾燥機を使用し、衛生管理に努めています。管理栄養士によるアドバイスを定期的に受けています。	○	食材に触れる時は、石鹸にて手洗い励行しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関のアプローチ周りを広く取り、花壇を造り、利用者やご家族・近隣の人が親しみやすく安心に出入りできるように工夫しています。	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの周囲は緑が多く眺めもよく、静かで小鳥のさえずりで起床しています。明るいリビングには日差し避けのカーテンを配置し広いテーブルや、テレビに向けてソファもあります。壁には花の絵・行事の写真が飾られています。日中はリビングで過ごす人も多く、気持ちよくゆったりと過ごせるように工夫しています。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いリビングがあり、レクリエーションを楽しんだり、談笑して過ごせるよう居場所の工夫をしています。	○	

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	重要事項説明書に愛用の品の持込を許可することを明記し、居室には使い慣れた物や好みの物を飾るなどして、利用者それぞれの好みの部屋になっています。また、消臭・除菌には気を配る等して生活空間に配慮しています。	○	今後も配慮し、居心地よく過ごせるよう工夫していきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室は24時間換気ができるような空調設備が整っており、利用者の体感に応じて調整しています。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりによって自立歩行ができるような環境をつくっています。	○	手すりの取り付け位置や増設箇所について、改善の検討を提案していきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	カレンダーや時計等を置いてわかりやすくして、混乱や失敗を防ぎ自立して暮らせるように工夫しています。	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りにテーブルとイスを置き、利用者が自由に楽しめるように活かしています。	○	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

沖縄県(グループホーム ときわ苑)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
		○	④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設して一年未満ですが、利用者のその人らしさと、家族的雰囲気大切に、「触れること」をキーワードに職員一人ひとりが介護技術・接遇マナーのエキスパートを目指して研鑽を積んでいます。また、法人として特別養護老人ホーム・デイサービス・居宅介護事業（介護支援専門員）との事業併設なので、より多くの福祉サービスでの連携が密に取れます。